

優良賞

青森のおいしい水とラーメン

青森市立南中学校 3年 佐々木 大空



私は青森の水とラーメンがおいしいということを主張したい。というか、ラーメンだけでなく食べ物全てがおいしいと感じる。私がそのことを最も感じたのが東京での旅行だった。

私がそこへ行ったとき、おいしそうなるラーメン屋をいくつか見つけており、すでに行こうと決めていた。店の前に着くと、店頭にはやはり多くの人々が並んでいた。かなり待ってから、やっと食べることができたが、食べる前からドキドキし、とても期待をしていた。実際に食べてみて、たしかにとてもおいしかったと同時に、青森のラーメンも負けていないな、と感じた。あくまで私の感想だが、そう思った自分が気になったので、少しネットで青森の食べ物について調べてみることにした。

まず、青森の寒い気候のおかげでおいしい野菜をとることができるらしい。また、海に面していてたくさんの魚もとることができる。そして、なんととっても水がおいしい。これらのようにおいしい食べ物や水がとれる環境にあるので、ラーメンがおいしいのも当然なのかもしれない。また、水がおいしいことは青森の自慢できる点だ。

私は、青森の食べ物や水がとてもおいしいということをもっと知ってもらうための仕事に就きたいと考えている。私の父は現在青森の農産物を広める仕事をしており、帰る時間も遅いときが多い。しかし、その分やりがいを感じると言っていたし、少しはその仕事を近くで見ることができているので、将来これと同じように他県の人達に青森の食べ物がおいしいということを伝えたい。また、父の仕事を通して実際に作っている人に会ったことがあるが、話してみるととても人柄が良い。自分で作った野菜やジャムを分けてくれた。おいしい食べ物を作る上で、優しさは必要なのかなと感じた。そういうことを考えると、青森の人達は人柄が良く、誇れる点だと思った。

そして、自分で考えたもう1つの大事な点は、やはり、愛情だ。ラーメン屋も含むすべてのお店がやっているのは深い愛情からだ。それは間違いない。また、全国共通で言えることだ。

私は、これらの良い点があるから、青森の食べ物はおいしいのだと思う。私はこれらのものを広める仕事に携わることができた場合、同様に優しさと愛情が必要になると思う。私は、特にラーメンがとても好きなので、愛情をもつ自信がある。優しさも、中学、高校生活のうちになんとか身に付けていきたい。そして、それらのことを学び、人格者になった上で働いてみたい。

この人生プランを成功させるために、今の生活がとても大切だ。自分が青森の食べ物や水がおいしいということを伝える力をもっと身に付けたい。日頃から自分の気持ちを伝えることを意識して、将来これと同じように、青森をアピールできる主張をしていきたい。